MERIT

キーボード コントローラ
MKB−931D

取扱説明書

目 次

１． 正しくお使いいただくために ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
２． 主な特長 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P3
３． 各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P3
４． ジョイスティック操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P5
５． キーボードのシステム設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P6
5-1. キーボードの ID 設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P6
5-2. システムモード設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P6
5-3. プロトコル設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P6
5-4. トーン設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
5-5. 日付・時刻設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
5-6. 日付表示設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
5-7. 時刻表示設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
5-8. システム情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
６． スピードドームカメラの操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
6-1. PTZ 操作モードへの切り換え ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
6-2. 機能ボタン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8
6-3. ジョイスティックを使用したメニュー設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8
6-4. カメラの呼び出し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8
6-5. プリセット位置の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8
6-6. プリセット位置の呼び出し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9
6-7. プリセットグループの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9
6-8. PTZ の操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9
6-9. PTZ 情報の表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9
6-10. アラーム情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P10
７． マトリックススイッチャと受信機の操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P10
7-1. マトリックス操作モードへの切り換え ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P10
7-2. 機能ボタン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P10
7-3. キーボードの ID 設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P10
7-4. プロンプト”＜” ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P10
7-5. メニュー設定モード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P10
7-6. モニタの選択 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P11
7-7. カメラの呼び出し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P11
7-8. マトリックススイッチャを介した PTZ の操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P11
7-10. アラーム情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P11
８． DVR の操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P12
8-1. DVR 操作モードへの切り換え ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P12
8-2. 画面表示制御 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P12
8-3. メニュー設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P12
8-4. 再生の準備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P12
8-5. 再生・録画の操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P13
8-6. DVR を介した PTZ の操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P13
９． 接続図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P14
１０． 機器仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P14
１１． システム例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P15
１２． システムの接続例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P16

1. 正しくお使いいただくために
以下の警告・注意事項をお読みになり、安全にご使用ください

⚠ 警告　人が死亡、または重症を負う恐れがある内容です。

●電源は正しく使用する
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●湿気の多い場所では使用しない。
風呂場・炊事場など、湿気の多いところ、湯気、油煙、ほこりがあたるような場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●雷が鳴りはじめたときの対処
雷が鳴りはじめたら、電源ケーブルをすみやかにコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●キャビネットは絶対にはずさないでください。
火災・感電の原因となります。内部点検、調整、修理は販売店にご依頼ください

●機器に異常が生じたときの対処
万一煙がでている、変なにおいや音がする、本体を触ることができないほど発熱している場合などの異常状態になったときは、電源ケーブルをすみやかにコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

●改造は絶対にしないでください。
本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

●機器に水が入る可能性のある環境では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。降雨中、海岸、川岸水辺での使用は危険ですのでおやめください。

⚠ 人が障害を負ったり、財産が損害を受ける恐れのある内容です。

●直射日光や熱器具の近くは避けてください。
直射日光のあたる場所や熱器具の近くには置かないでください。内部温度が上昇して故障の原因となります。

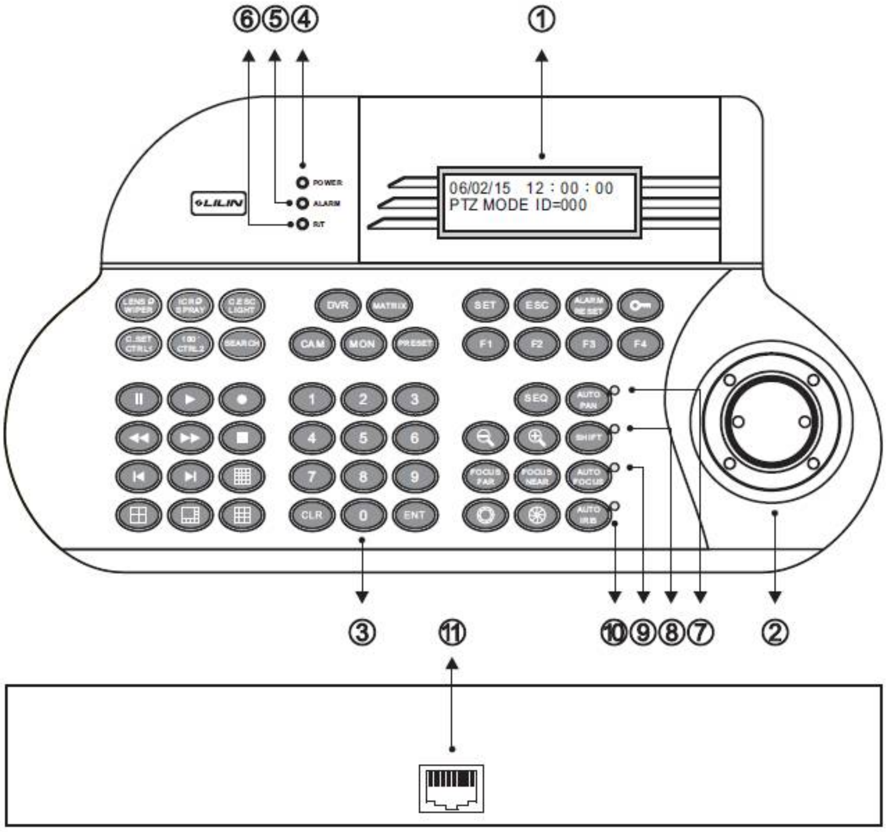
●お手入れのとき
お手入れのときは、安全のため、作業の前に必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

●磁気を発生させる機器の近くには置かない。
磁気を発生させる機器の近くには置かないでください。磁気の影響をうけて、正しく動作しないことがあります。

2. 主な特長

- マトリックススイッチャ、スピードドームカメラ、デジタルレコーダの制御に使用できます。
- 各機器のすべての機能を操作することができます。
- LCD に最大 20 文字 X 4 行で現在の状態、設定内容などが表示されます。
- 3 軸のジョイスティックにより、旋回台とズームの制御が可能です。
- キーロック機能により、いたずら操作を防止します。
- 内蔵スピーカからアラーム音を出力します。

3. 各部の名称



① LCD 表示部
設定メニューや操作情報を表示します。

② ジョイスティック
3 軸（旋回台・ズーム）

③ キーパッドパネル
54 のキーで旋回台、マトリックススイチャ、受信機の操作を行ないます。

④ 電源表示

⑤ アラーム表示

⑥ 送受信表示
データ通信を表示します。

⑦ オートパン表示

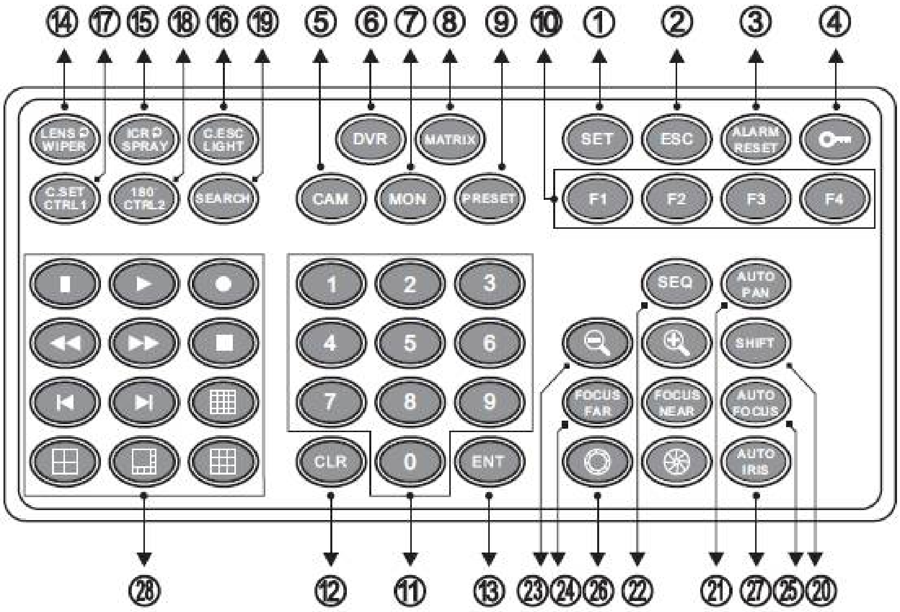
⑧ シフト表示
シフトキーが押されると点灯します。

⑨ オートフォーカス表示

⑩ オートアイリス表示

⑪ RJ-45 コネクタ

≪キーパッドパネル≫



① SET 釦
設定ﾓｰﾄﾞに入ります。

② ESCB釦
機能やﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑから抜け出します。

③ ALARM RESET 釦
ｱﾗｰﾑや映像欠落ｱﾗｰﾑをﾘｾｯﾄします。

④ 釦
釦を 2 秒以上押すとﾛｯｸﾓｰﾄﾞになり
もう一度 2 秒以上押すと解除されます。

2006/01/01 12 : 00 : 00 KEYPAD LOCK

⑤ CAM 釦
ｶﾒﾗの選択釦です。
他の操作ﾓｰﾄﾞのとき SHIIF 釦に続き CAM 釦を押すと、PTZ 操作ﾓｰﾄﾞになります。

⑥ DVR 釦
DVR の選択釦です。
他の操作ﾓｰﾄﾞのとき SHIIF 釦に続き DVR 釦を押すと、DVR 操作ﾓｰﾄﾞになります。

⑦ MON 釦
ﾓﾆﾀの選択釦です。

⑧ MATRIX 釦
他の操作ﾓｰﾄﾞのとき SHIIF 釦に続きこの釦を押すと、ﾏﾄﾘｯｸｽ操作ﾓｰﾄﾞになります。

⑨ PRESET 釦
ﾌﾟﾘｾｯﾄの呼び出し、保存に使用します。

⑩ FUNCTION 釦
4 つの機能釦(F1～F4)はそれぞれの操作ﾓｰﾄﾞで異なる機能を実行します。

⑪ 数字釦
ｶﾒﾗ番号、ﾓﾆﾀ番号、DVR 番号などに使用します。

⑫ CLR 釦
設定ﾃﾞｰﾀをｸﾘｱします。

⑬ ENT 釦
ﾃﾞｰﾀ、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの入力、確認に使用します。

⑭ LENS/WIPER 釦
MSD-7625 ｼﾘｰｽﾞに接続した場合は、ﾚﾝｽﾞのｽﾋﾟｰﾄﾞを切り換え、受信機に接続した場合は、ﾊｳｼﾞﾝｸﾞに装備されたﾜｲﾊﾟを操作します。

⑮ ICR/SPRAY 釦
MSD-7625 ｼﾘｰｽﾞに接続した場合は、IR ｶｯﾄﾌｨﾙﾀの ON/OFF/AUTO を切り換え、受信機に接続した場合は、ﾊｳｼﾞﾝｸﾞに装備されたｳｫｯｼｬを操作します。

⑯ C.ESC/LIGHT 釦
MSD-7625 ｼﾘｰｽﾞに接続した場合は、設定ﾒﾆｭｰの ESC 釦として使用し、受信機に接続した場合は、照明の制御などに使用される接点を操作します。

⑰ C.SET/ CTRL1 釦
MSD-7625 ｼﾘｰｽﾞに接続した場合は、設定ﾒﾆｭｰの表示に使用し、受信機に接続した場合は、予備の操作釦として使用し

⑱ 180/ CTRL2 釦
スピードドームカメラに接続した場合は、水平方向に 180 度回転させ、受信機に接続した場合は、予備の操作釦として使用します。

⑲ SEARCH 釦
MDR-2160 に接続した場合、録画画像に基づき、日時検索を行います。

⑳ SHIFT 釦
SHIFT ボタンに続き他の釦を押すと、異なる機能が実行されます。

㉑ AUTO PAN 釦
スピードドームカメラをオートツアーモードに、また旋回台をオートパンモードにします。

㉒ SEQ 釦
特定のモニタで、映像のシーケンス表示を開始させます。

㉓ 釦（ズームイン/アウト）
レンズのズームを手動で調整します。

㉔ FOCUS FAR/FOCUS NEAR 釦
レンズのフォーカスを手動で調整します。

㉕ AUTO FOCUS 釦
スピードドームカメラに接続した場合、レンズのフォーカスを自動モードにします。

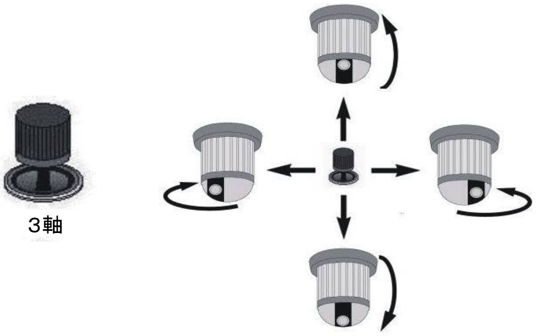
㉖ 釦（アイリス開/閉）
レンズのアイリスを手動で調整します。

㉗ AUTO IRIS 釦
スピードドームカメラに接続した場合、レンズのアイリスを自動モードにします。

㉘ DVR 操作釦
MDR-2160 に接続した場合、4 分割/8 分割/9 分割/16 分割表示、録画、再生、ポーズ、停止、早送り、逆送りなどの操作をします。

4. ジョイスティック操作

1. ジョイスティックはスピードドームカメラの上下左右方向の旋回操作に使用されます。



2. ジョイスティックはスピードドームカメラのズームイン/アウト操作にも使用されます。

反時計方向に回すとズームアウトします。

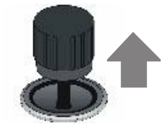
時計方向に回すとズームインします。

5. キーボードのシステム設定

SHIFT 釦に続き SET 釦を押すと LCD 表示部にキーボードのシステム設定メニューが表示されます。ジョイスティックを前後に動かし、メニューのページを選択します。1～8 の数字ボタンで設定項目を選択します。ESC 釦を押すと、各設定項目またはシステム設定メニューから抜け出します。

```
MENU SETUP 1/3
1. KEYBOARD ID
2. SYSTEM MODE
3. PROTOCOL
```

```
MENU SETUP 2/3
4. TONE
5. DATE/TIME
6. DATE FORMAT
```



```
MENU SETUP 3/3
7. DISPLAY
8. INFORMATION
```

5-1. キーボードの ID 設定

複数のキーボードまたはマトリックス制御モードで使用する際には、キーボード ID を設定しなければなりません。

1～8 の数字ボタンでキーボード ID を設定してください。

（注）マスターのキーボードには ID として 1 を割り当ててください。

```
KEYBOARD ID SETUP
Select(1-8) for ID

ID= 1
```

5-2. システムモード設定

メニューの中から SYSTEM MODE を選択し、ジョイスティックを左右に倒して操作モードを選択してください。

（ PTZ ↔ DVR ↔ MATRIX ）

```
SYSTEM MODE SETUP
Move L/R Select Mode

PTZ MODE
```

5-3. プロトコル設定

メニューの中から PROTOCOL を選択し、1～3 の数字釦で操作する機種を選択してください。

```
PROTOCOL SETUP
1. PTZ
2. DVR
3. MATRIX
```

① 1 の PTZ モードを選択した時

スピードドームカメラ MSD-7000/7600/7625 を操作する場合には 1 を、ミニスピードドームカメラ MSD-7601/7602/7610/7622 を操作する場合には 2 を選択してください。

```
PTZ MODE
1. MSD-7000/7600/7625
2. MSD-7601/7602/7610
   MSD-7622
```

② 2 の DVR モードを選択した時

1 の MDR-2160 を選択してください。

```
DVR MODE
1. MDR-2160
```

③ 3 の MATRIX モードを選択した時

1 の MMX-816/832/864 を選択してください。

```
MATRIX MODE
1. MMX-816/832/864
```

（注）設定が終了すると表示は前の設定画面にジャンプし、設定内容は EEPROM に保存されます。

5-4. トーン設定

キー操作音とアラーム音の制御をします。

TONE SETUP Press Digit on/off 1. Keypad tone : ON 2. Alarm　tone : ON

① Keypad Tone

1 の釦を押すごとに、キー操作音のオン/オフが切り換ります。

(注)キー操作音をオンに設定した場合、正しくキー操作がされると

ピー、ピーという確認音がし、操作が間違っているとピッ、ピッ、ピッという鋭い音がします。

キー操作音をオフに設定した場合は、ビープ音はしません。

② Alarm Tone

2 のボタンを押すごとに、アラーム音のオン/オフが切り換ります。

5-5. 日付・時刻設定

TIME / DATE SETUP 06/05/15 12:45:36

日時設定は、ジョイスティックを左右に倒して、カーソルを変更したい箇所に移動し、数字釦で入力してください。ESC 釦を押すと設定が終了します。

(注)設定時の日付表示は年/月/日の順です。

5-6. 日付表示設定

DATE FORMAT 1. YYYY/MM/DD 2. MM/DD/YYYY 3. DD/MM/YYYY

1～3 の数字釦で、次の中から日付の表示方法を選択します。

1. 年/月/日
2. 月/日/年
3. 日/月/年

5-7. 時刻表示設定

DISPLAY SETUP Press Digit on/off 1. Time display : ON

1 の釦を押すごとに、時刻表示のオン/オフが切り換ります。

(注)時刻表示をオフに設定しても、日付は LCD 表示部に表示されます。

5-8. システム情報

SYSTEM INFORMATION Joystick 3 axis Version:1.0.03

ジョイスティックのタイプ(通常は 3 軸)とバージョン情報が表示されます。

6. スピードドームカメラの操作

6-1. PTZ 操作モード(旋回台・レンズの操作)への切り換え

2006/05/15 12:45:36 PTZ MODE ID=000

SHIFT 釦に続き CAM 釦を押すと、キーボードは PTZ 操作モードに切り換わります。

6-2. 機能釦(FUNCTUON 釦)

F1:プリセット位置間の移動スピードを設定します。

F2:プリセット位置での停止時間を設定します。

F3:プリセットのデータを保存し、保存されたデータは LCD 表示部に表示されます。

F4:プリセットグループを設定します。

SHIFT → F1:180 度水平旋回します。(180/ CTRL2 釦と同じ機能です。)

SHIFT → F2:レンズの動作スピードを切り換えます。(LENS/WIPER 釦と同じ機能です。)

SHIFT → F3:IR カットフィルタの ON/OFF/AUTO を切り換えます。(ICR/SPRAY 釦と同じ機能です。)

6-3. ジョイスティックを使用したメニュー設定

SET ボタンを押し、スピードドームカメラの設定メニューを起動してください。

	カーソルを上に移動します。		カーソルを下に移動します。
	1. 数字を減少させます。 2. カーソルを左に移動します。		1. 数字を増加させます。 2. カーソルを右に移動します。
	サブメニューに入ります。		メニューから抜け出します。

6-4. カメラの呼び出し

数字ボタンで 1～256 の数字を入力し CAM 釦を押してください。

例:12 番カメラを呼び出す場合

1 → 2 → CAM

(注)入力された数字は LCD 表示部に ID = x x x と表示されます。

2006/05/15 12:45:36
PTZ MODE ID = x x x

6-5. プリセット位置の設定

① 数字釦で 1～128 のプリセット番号を入力し PRESET 釦を押してください。

② ジョイスティックとレンズ操作釦でスピードドームカメラを希望のアングルに設定してください。

③ 数字釦で 1～255(度/秒)の回転スピードを入力し F1 釦を押してください。

④ 数字釦で 1～255(秒)の停止時間を入力し F2 釦を押してください。

⑤ 数字釦 1 に続き F3 釦を押して、データを保存してください。

2006/05/15 12:45:36
PTZ MODE ID=001
SAVE PRESET 001
DWELL=003 SPEED=255

設定例:

① プリセット番号 1 を選択します。 1 → PRESET

② ジョイスティックとレンズ操作釦でスピードドームカメラを希望のアングルに設定します。

③ 回転スピードを 255 度/秒に設定します。 2 → 5 → 5 → F1

④ 停止時間を 3 秒に設定します 3 → F2

⑤ プリセットデータを保存します。 1 → F3

(注)数字釦で 9 → 0 → 1 → 1 と入力し CLR 釦を押すと、保存されたすべてのプリセットデータが消去されます。

6-6. プリセット位置の呼び出し

数字釦で 1～128 のプリセット番号を入力し PRESET ボタンを押してください。

操作例：プリセット番号 1 の呼び出し

1 → PRESET

```
2006/05/15 12:45:36
PTZ MODE ID=001
CALL PRESET 001
DWELL=003   SPEED=255
```

（注）プリセットのデータは LCD 表示部に表示されます。

6-7. プリセットグループの登録

各スピードドームカメラのプリセット番号 1～16 は自動的に次のように 4 つのプリセットグループに振り分けられます。オートパン（ツアー）は登録されたグループに含まれるプリセット番号（プリセット位置）を順にたどります。従ってプリセットは、オートパン動作を考慮して設定してください。

プリセットグループ 1：プリセット番号 1、2、3、4

プリセットグループ 1：プリセット番号 5、6、7、8

プリセットグループ 1：プリセット番号 9、10、11、12

プリセットグループ 1：プリセット番号 13、14、15、16

登録例 1：プリセットグループ 1 をオートパンに登録

数字釦 1 に続き F4 を押してください。

1 → F4

```
2006/05/15 12:45:36
PTZ MODE ID=001
PRESET GROUP
SET=1
```

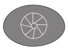
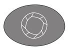
登録例 2：プリセットグループ 2、3、4 をオートパンに登録

数字ボタン 2、3、4 に続き F4 を押してください。

2 → 3 → 4 → F4

```
2006/05/15 12:45:36
PTZ MODE ID=001
PRESET GROUP
SET=2+3+4
```

6-8. PTZ（旋回台・レンズ）の操作

	左旋回		右旋回
	上方向		下方向
	ズームイン		ズームアウト
	ズームイン		ズームアウト
	フォーカス遠		フォーカス近
	アイリス閉		アイリス開

6-9. PTZ 情報の表示

- Pan_L = 000～007 ：左旋回スピード
- Pan_R = 000～007 ：右旋回スピード
- Tilt_U = 000～007 ：上方向スピード
- Tilt_D = 000～007 ：下方向スピード
- Zoom_I = 000～015：ズームイン・スピード
- Zoom_O= 000～015：ズームアウト・スピード

```
2006/05/15 12:45:36
PTZ MODE ID=001
Pan_L = 000   Tilt_U = 007
Zoom_I = 015
```

（注）大きい数字はスピードが速いことを示します。

6-10. アラーム情報

```
2006/05/15 12:45:36
PTZ MODE ID=001
Pan_L = 000    Tilt_U = 007
Zoom_I = 015
```

アラームが発生するとアラーム表示 LED が点滅し、同時にスピーカからアラーム音が出力されます。（Alarm tone を ON に設定の場合）LCD 表示部には 6 つまでのアラーム情報が交互に表示され、7 つ目のアラームが発生すると、最初のアラームと置き換わります。

ALARM RESET 釦を押すと、アラーム情報が消去されます。アラーム情報は自動的には消去されません。

（注）スピードドームカメラのその他の機能しつきましては、それぞれの取扱説明書をご参照ください。

7. マトリックススイッチャと受信機の操作

7-1. マトリックス操作モードへの切り換え

```
2006/05/15 12:45:36
MATRIX MODE
```

SHIFT 釦に続き MATRIX 釦を押すと、キーボードはマトリックス操作モードに切り換わります。

7-2. 機能釦（FUNCTUON 釦）

F1：モニタの日時、カメラ番号表示をオン/オフします。

F2：最後の 10 のアラーム情報または映像欠落アラーム情報をモニタに表示します。

F3：モニタの表示位置を調整します。

F4：プリセットグループを設定します。

7-3. キーボードの ID 設定

マトリックス操作モードにおいてもキーボードにはIDを設定しなければなりません。

前出 5-1. キーボードのID設定（P6）をご参照ください。

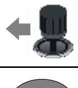
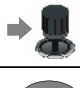
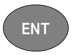
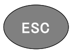
7-4. プロンプト”＜”

① マトリックスシステムは画面に”＜”サインが表示されているときだけ操作が可能です。

② モニタを選択するために、数字ボタンで1～16のモニタ番号を入力しMONボタンを押してください。”＜”サインがモニタに表示され、設定や操作の準備ができていることを示します。

③ 設定や操作を 5 分間行なわないと、”＜”サインは自動的に消えます。

7-5. メニュー設定モード

	カーソルを上に移動		カーソルを下に移動
	カーソルを左に移動		カーソルを右に移動
	サブメニューに入る		サブメニューから抜け出す
～	0～9 の数字ボタンを使い、サブメニューの番号、データを入力する		

7-6. モニタの選択

数字釦で 1～16 の数字を入力し MON 釦を押してください。

例: 2 番モニタを選択する場合

2 → MON

(注)入力された数字はモニタに表示されます。

7-7. カメラの呼び出し

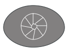
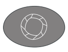
”＜”サインがモニタに表示されているとき、数字釦で 1～64 の数字を入力し CAM 釦を押してください。

例: 12 番カメラを呼び出す場合

1 → 2 → MON

7-8. マトリックススイッチャを介した PTZ 操作

マトリックススイッチャに接続された PTZ カメラを操作するためには、まずそのカメラをモニタに呼び出してください。カメラが制御可能な状態になると、次の操作が実行できます。

	左旋回		右旋回
	上方向		下方向
	ズームイン		ズームアウト
	ズームイン		ズームアウト
FOCUS FAR	フォーカス遠	FOCUS NEAR	フォーカス近
	アイリス閉		アイリス開
AUTO PAN	オートパン	180 CTRL2	180° 旋回
C.SET CTLR1	カメラメニュー設定	C.SET LIGHT	カメラメニューから抜け出し
LENS WIPER	レンズスピード切り換え	ICR SPRAY	IR カットフィルタ切り換え

(注)マトリックス操作モードでスピードドームカメラの設定メニューに入るには、”＜”サインが表示されている状態で、C.SET/CTRL1 ボタンを押してください。C.ESC/LIGHT 釦を押すと、メニューから抜け出します。

7-9. アラーム情報

マトリックス操作モードのときは、アラームが発生してもキーボード自身は反応しません。アラーム情報は、マトリックススイッチャに接続されたモニタに表示されます。

(注)マトリックススイッチャのその他の機能しつきましては、MMX-816/832/864の取扱説明書をご参照ください。

8. DVR の操作

DVR 操作モードでは、DVR の主要機能である次の4つの操作が可能です。

1. 画面表示制御　2. メニュー設定　3. PTZ 操作　4. 再生・録画操作

8-1. DVR 操作モードへの切り換え

SHIFT 釦に続き DVR 釦を押すと、キーボードは DVR 操作モードに切り換わります。

```
2006/05/15 12:45:36
DVR MODE ID=000
```

8-2. 画面表示制御

画面表示を制御する DVR を次の手順で選択してください。

数字釦で 1～256 の DVR 番号を入力し DVR 釦を押してください。

例：12 番 DVR を選択する場合

1 → 2 → DVR

(注)入力された数字は LCD 表示部に ID = x x x と表示されます。

```
2006/05/15 12:45:36
DVR MODE ID = x x x
```

① 分割表示

選択された DVR は画面分割釦により、次のとおり映像を分割表示します。

16 分割表示　 8 分割表示

9 分割表示　 4 分割表示

② シーケンシャル表示

SEQ 釦を押すと、設定された時間間隔でフル画面映像が自動的に切り換わり表示されます。

8-3. メニュー設定

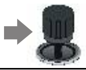
DVR を選択したら、SET 釦を押してください。DVR の設定メニューが表示されます。

	サブメニューに入ります		サブメニューから抜け出します
	カーソルを上方向に移動します		カーソルを下方向に移動します
	数字を減少させます		数字を増加させます
ENT	サブメニューに入ります	ESC	サブメニューから抜け出します

8-4. 再生の準備

DVR の再生を行なうにはまず PLAY 釦、あるいは SEARCH 釦を押してください。PLAY 釦を押すと再生メニューが表示されますので、ジョイスティックでカーソルを移動し再生を実行してください。

SEARCH 釦を押すと時間検索機能が起動しますので、ジョイスティックでカーソルを移動してください。

	1. 再生メニューではサブメニューに入ります 2. 再生モードでは早送り再生をします		サブメニューから抜け出します
	1. 再生メニューではサブメニューから抜け出します 2. 再生モードでは早逆戻し再生をします		カーソルを下方向に移動します
	数字を減少させます		数字を増加させます

8-5. 再生・録画の操作

一時停止(ポーズ)　　再生　　早送り再生

早逆戻し再生　　再生停止　　録画/録画停止

(注)ライブ映像監視時、再生時ともに画面分割表示が可能です。

8-6. DVR を介した PTZ 操作

ライブ映像監視時に旋回台・レンズを操作するためには、画面分割モードでは ENTER 釦で該当するカメラを選択し、フル画面モードでは次の手順で該当するカメラを呼び出します。

① DVR 番号と DVR の映像入力チャンネルの番号で呼び出す方法

数字ボタンで **1～256** の DVR 番号を入力し **DVR** ボタンを押してください。引き続き、数字釦で **1～16** の映像入力チャンネル番号を入力し **CAM** ボタンを押してください

例:12 番 DVR の映像入力チャンネル 8 番に接続されたカメラを呼び出す場合

1 → 2 → DVR → 0 → 8 → CAM

② カメラの通し番号(カメラの ID)で呼び出す方法

数字釦で **1～4080** のカメラ番号を入力し **CAM** 釦を押してください。キーボードが自動的に計算し(入力された数字を 16 で割り)、該当するカメラを呼び出します。

例 1:ID 番号 17 のカメラを呼び出す場合

1 → 7 → CAM

2 番 DVR の映像入力チャンネル 1 番に接続されたカメラが呼び出されます。

```
2006/05/15 12:45:36
DVR MODE ID=002
CAM=001
CALL CAMERA 017
```

例 2:ID 番号 128 のカメラを呼び出す場合

1 → 2 → 8 → CAM

8 番 DVR の映像入力チャンネル 16 番に接続されたカメラが呼び出されます。

```
2006/05/15 12:45:36
DVR MODE ID=008
CAM=016
CALL CAMERA 128
```

カメラが制御可能な状態になると、次の操作が実行できます。

	左旋回		右旋回
	上方向		下方向
	ズームイン		ズームアウト
	ズームイン		ズームアウト
FOCUS FAR	フォーカス遠	FOCUS NEAR	フォーカス近
	アイリス閉		アイリス開
AUTO PAN	オートパン		

プリセット位置を呼び出すには、プリセット番号に続き **PRESET** 釦を押して下さい。

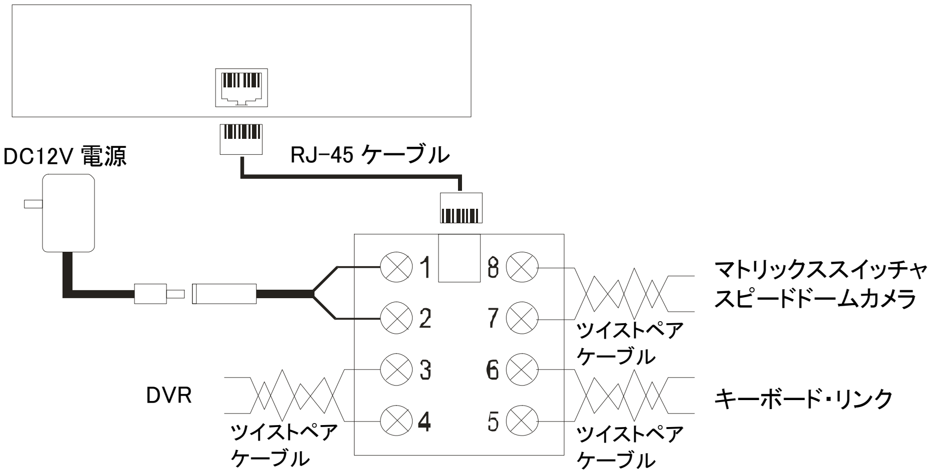
例: 21 番カメラのプリセット位置 16 番を呼び出す場合

2 → 1 → CAM → 1 → 6 → PRESET

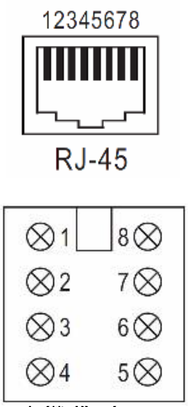
(注)DVRのその他の機能しつきましては、DVRの取扱説明書をご参照ください。

9. 接続図

① キーボードと中継ボックスの接続



② RJ-45 と中継ボックスのピン配列



中継ボックス

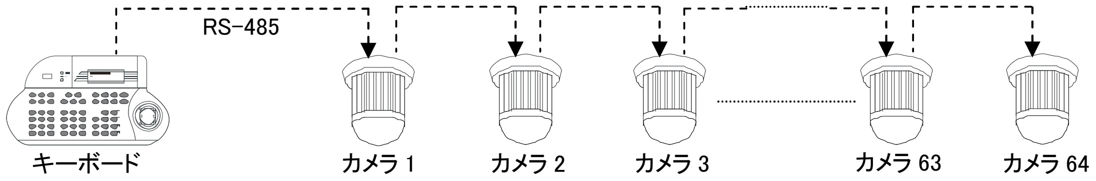
ピン番号	機　　能
1	DC12V 入力
2	GND
3	RS-485 +　　　　DVR
4	RS-485 −　　　　DVR
5	RS-485 + OUT　キーボード・リンク
6	RS-485 − OUT　キーボード・リンク
7	RS-485 + IN　　PTZ　またはマトリックス
8	RS-485 − IN　　PTZ　またはマトリックス

10. 機器仕様

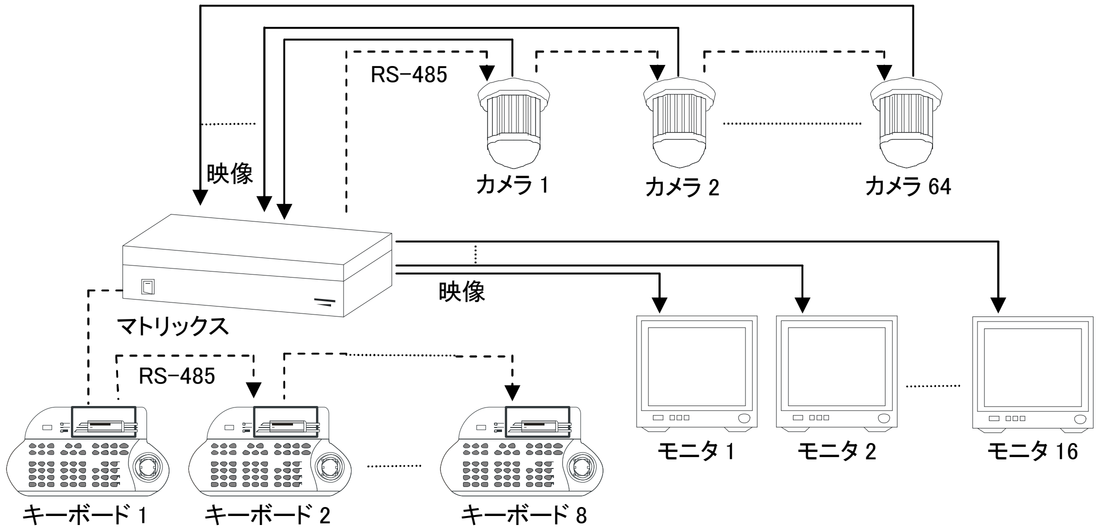
型　名	MKB-931D
ジョイスティック	3 軸(パン/チルト/ズーム)
スピード制御	パン:8 段階、チルト:8 段階、ズーム:16 段階
データ通信	RS-485 準拠（フォーマット:N、8、1、9600bps）
コネクタ	RJ-45 / 8pin
制御モード	PTZ、マトリックス、DVR
LCD 表示部	20 文字　x 4 行
操作釦	合計 54 釦:0～9 数字、CAM、MON、MATRIX、DVR、PRESET、CLR、ENT、SET、ESC、ALARM RESET、KEYLOCK、SEQ、AUTOPAN、SHIFT、レンズ操作、DVR 操作、受信機操作、機能(FUNCTION)
電源入力	DC12V±10% / 250mA
消費電力	約 3W
使用周囲温度	-5℃～+60℃
寸法(mm)	340(W) x 194(D) x 103(H)
質量	約 1,350g

11. システム例

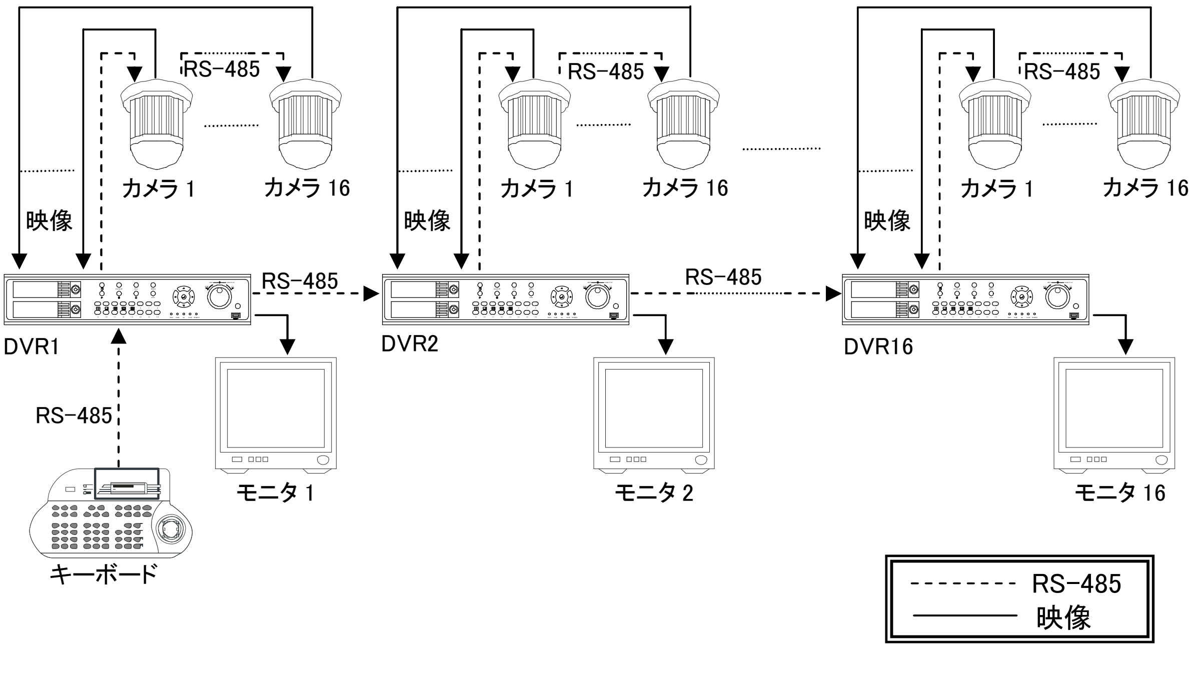
① PTZ（スピードドームカメラ）システム



② マトリックス・システム

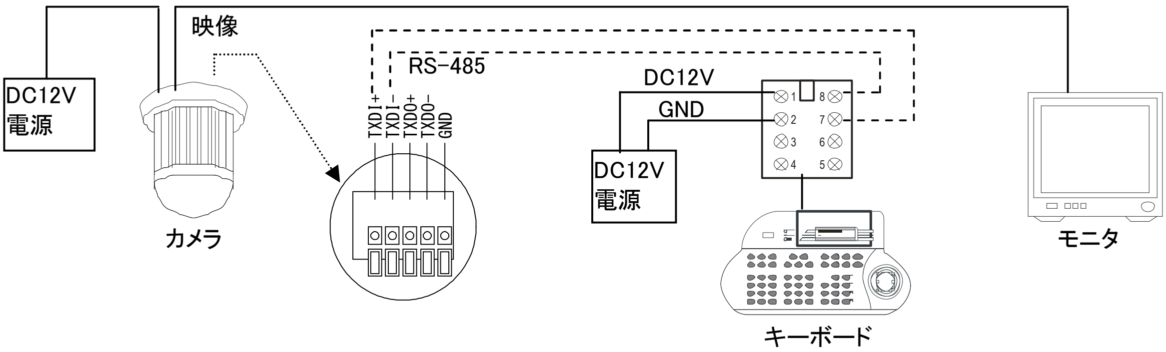


③ DVR システム

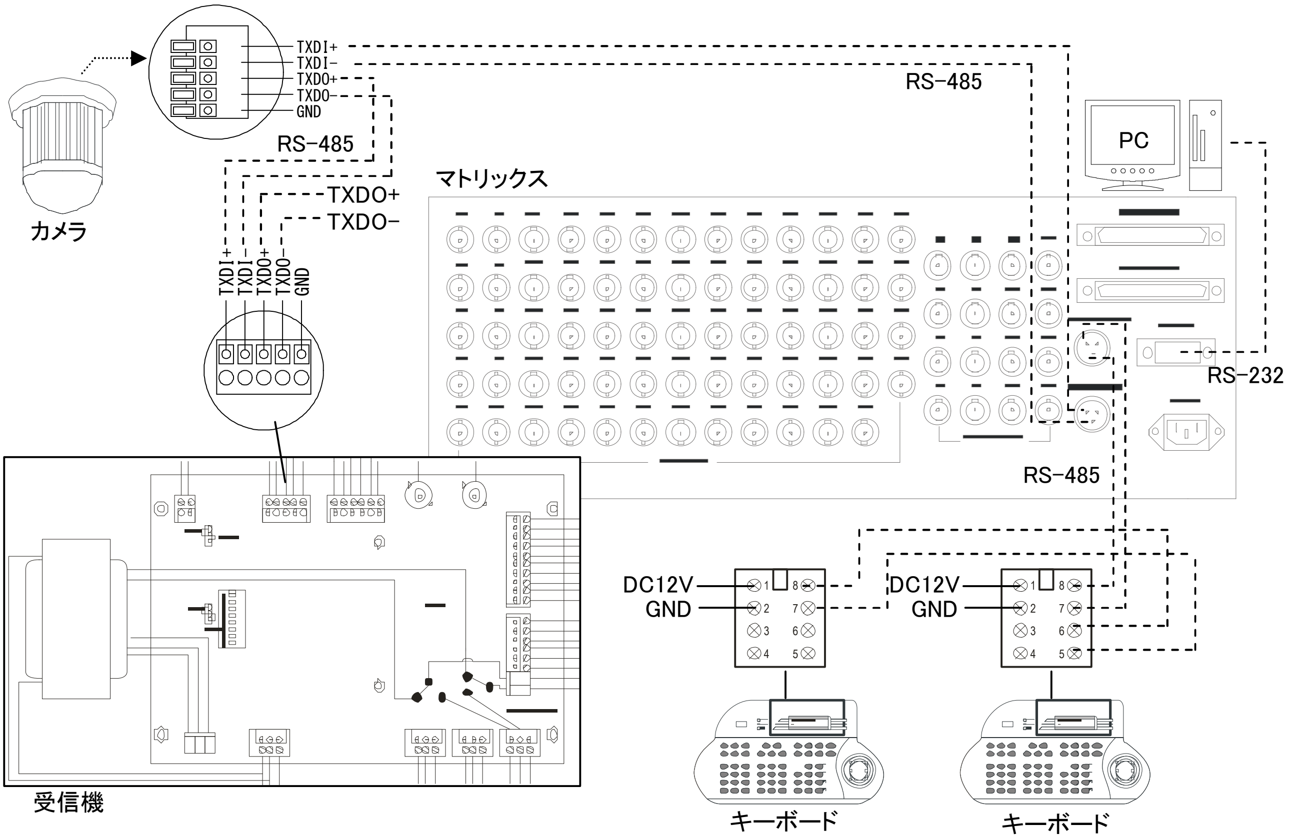


12. システムの接続例

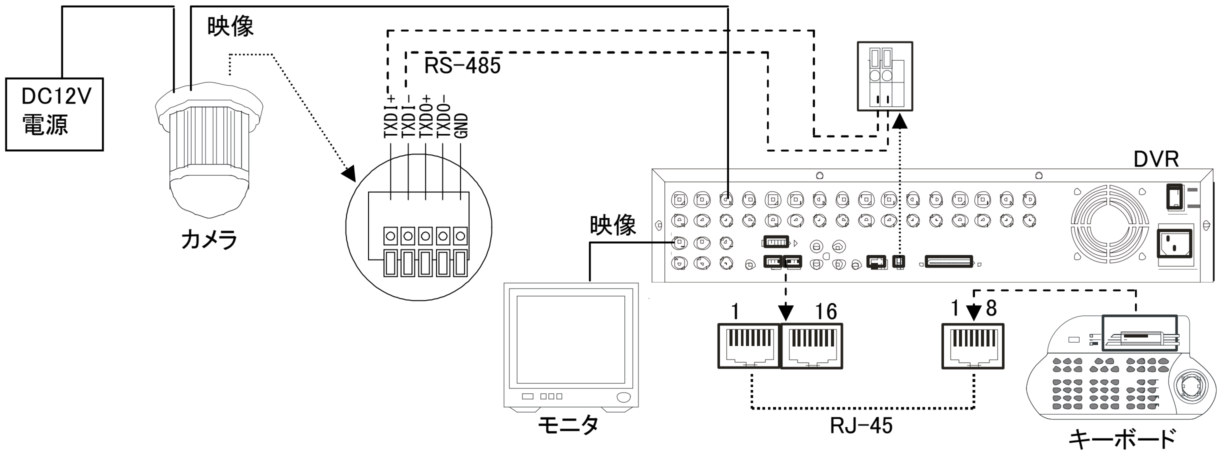
① PTZ(スピードドームカメラ)システム



② マトリックス・システム



③ DVR システム



MERIT

有限会社 メリット

本　社　　〒215-0018　神奈川県川崎市麻生区王禅寺東 5-6-17
電話 & ﾌｧｯｸｽ : 044-986-9088
埼玉営業所　　〒351-0115　埼玉県和光市新倉 1-28-12
電話: 090-6527-6624
URL : http://www.meritcctv.com　　E-mail : info@meritcctv.com

2012.4.1